

日本における株主アクティビズムと独立取締役

Shareholder Activism in Japan and the Role of Independent Directors

Jeffrey Gordonコロンビア大学教授（キーノート・スピーカー）による、アメリカにおける株式所有の機関投資家現象（株式所有構造が分散所有から少数の機関投資家による集中所有に移行している現象）、および、それに伴う独立社外取締役の役割の変化に関する問題提起の後、同様の現象が進行している日本の現状について、田中亘東京大学教授および穴戸善一橋大学教授より報告があります。それに引き続き、Gordon教授をはじめ、国内の政策立案者、異なったタイプの機関投資家責任者、社外取締役、および研究者をパネリストとして討論を実施し、日米のコーポレート・ガバナンスの現状の課題と今後の方向性を明らかにしていきます。

Keynote speaker Prof. Jeffrey Gordon (Columbia University) will raise the issue of institutionalization (change from widely dispersed stock ownership to concentrated ownership by a few institutional investors) and the change institutionalization has wrought to the role of independent directors in the U.S. Then, Prof. Wataru Tanaka (Tokyo University) and Prof. Zenichi Shishido (Hitotsubashi University) will describe the current situation in Japan where similar phenomena are occurring. The presentations will be followed by a panel of investment fund managers, a Japanese policy maker, an independent director, and academics exchanging views of the current problems and future possibilities of corporate governance in the U.S. and Japan.

2020年 1月10日（金） 開始13:00（受付：12:30～）

Venue

一橋大学 一橋講堂 2階 中会議場（千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター）

PROGRAM

- 13:00-13:10 **Opening Remarks**
穴戸 善一（一橋大学大学院法学研究科・教授）
- 13:10-13:40 **Keynote speech**
13:40-13:55(質疑) Jeffrey Gordon（コロンビア大学ロースクール・教授）
- 13:55-14:20 **The Long-term Effect of Hedge Fund Activism in Japan**
14:20-14:35(質疑) 田中 亘（東京大学社会科学研究所・教授）
- 14:35-15:00 **The Monitoring Board and Independent Directors in Japan**
15:00-15:15(質疑) 穴戸 善一
- Break —
- 15:35-17:35 **Panel Discussion**
17:35-17:55(質疑) 穴戸（司会）、Gordon、江良 明嗣（ブラックロック・ジャパン・ディレクター）、太田 順司（東芝・常勤社外取締役）、後藤 元（東京大学法学部・教授）、中神 康議（みさき投資・代表取締役社長）、中原 裕彦（経済産業省・審議官）、丸木 強（ストラテジックキャピタル・代表取締役）
- 17:55-18:00 **Concluding Remarks**
吉村 政穂（一橋大学大学院法学研究科ビジネスロー専攻長）

Language

英語・日本語（同時通訳あり）

参加費

無料

Capacity

先着 90名（入場無料）

申込方法

申込フォームにて

<https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/v33/entries/add/287>

お問い合わせ先 law-bl.g@dm.hit-u.ac.jp

主催

一橋大学大学院法学研究科グローバル・ロー研究センター

